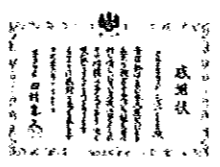


# 東日本大震災の被災者支援に関して 厚生労働大臣感謝状を頂きました。



ビーンズふくしまが行ってきた東日本大震災の被災者支援に対して厚生労働大臣より感謝状をいただき、その贈呈が5月27日に福島県庁で行われました。

仮設住宅の子ども支援「うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト」、福島県内外の避難親子支援に取り組んできた「東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口」のこれまで2年の取り組みを評価いただいた結果です。

「フリースクール」として創業した「ビーンズふくしま」。「不登校」を子ども本人の問題として問題視せず、行きたくても学校に行けなくなり、学びや友達と関わる場を失った子どもに対して、学校外の場の選択肢を増やし、もう一つの学びや人との交わりの機会をつくらうと取り

組みを進めてきました。自分らしく、子どもとしてあたりまえに生きていく環境の保障、共に育つという思いが根底にあります。

震災・原発事故は、福島子どもたちにとって本当に大変なことでした。家族とあたりまえに生活し、学び、遊び、友人と関わり、いろんな経験を、育っていく。そんなことが大きくゆらぎ、できなくなってしまった。そのことが後々に大きく影響することをそのままにはできませんでした。

すぐに元通りにはできなくても、今できることを、少しでも取り戻せるように関わり、支える取り組みをしよう。私たちの避難者支援の根



底にあるものは、創業のときの思いにそのまま通じます。

復興も、被災した方々がそれぞれ歩みはじめるのもまだ道半ばです。

震災の風化や支援の縮小も懸念されます。それでも私達は、被災した方々に、そしてこの福島に寄り添い続けようと思います。

皆様、どうぞこれからもよろしくお願い致します。

## これからの活動予定

- フリースクールキャンプ 8月5日、6日
- 事務局お盆休み 8月13日～8月18日
- ままカフェ (@ふくしま・こおりやま・しらかわ・いわき) 月1回開催中。日程等詳しくはホームページ、またはお問い合わせください。
- ピアサポートネット 8月下旬より 県北地域開催予定 9月下旬より いわき、相双地域開催予定
- ビーンズふくしま15周年 9月9日



事務所の入り口にあるミニトマトがたくさんの実をつけています。トマトが赤くなっていくともう夏が近づいているのだと感じます。今回の通信は各事業の紹介です。総会も終わり、各事業とも日々県内あちこちを動き回っています。子どもたちの夏休みに向けて子どもたちのイベントもたくさん。デスクにいることの多い私は、暑い子どもたちと活動し続けるスタッフをすごいなーと思いながら応援しています。

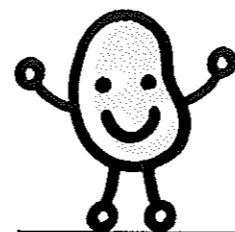
## 編集後記

### 福島

### 郡山

〒963-8022 郡山市西ノ内1丁目21-4 白鷲ビル1F  
TEL024-954-3890 FAX024-954-3891

●ビーンズふくしまのホームページ はこちらへアクセス → <http://www.k5.dion.ne.jp/~beans-f/>



# ビーンズ通信

●発行元  
特定非営利活動法人  
ビーンズふくしま  
〒960-8066 福島県福島市矢剣町22-5 2F  
TEL&FAX 024-563-6255  
URL <http://www.k5.dion.ne.jp/~beans-f/>  
E-mail [info@beans-fukushima.or.jp](mailto:info@beans-fukushima.or.jp)

●発行日/2014年7月10日

Vol.64

NPO法人ビーンズふくしまは、不登校の子どもやひきこもりの青年などに安心できる居場所を提供し、1人1人に寄り添って、ゆるやかな社会参加を促し、その自立を支援する、若者支援の理念に基づいて事業を展開しています。

## 第12回定期総会報告

# 『一人一人の身になった支援を』の声に答えて

フリースクールビーンズふくしまとして活動を始めてから、15周年を迎える今年。去る6月8日(日)、第12回法人定期総会がウイズもとまちにて開催されました。昨年度事業報告・決算報告、今年度事業計画・活動予算案の発表を行い、会員の皆様の承認をいただくことができ、平成26年度の活動をスタートすることとなりました。

本年度は、昨年策定したビジョン・ミッションに基づき、ビーンズふく

まの各事業を進めていくこととなります。

### 【ビーンズふくしまのビジョン】 ～法人が実現したい社会～

生きにくさを抱える子ども・若者が、自ら望む姿で、つながることができる社会をつくる。

### 【ビーンズふくしまのミッション】 ～社会を実現するために法人がすること～

子ども若者の教育・労働・福祉との接続機会の喪失によって起こる「社会からの孤立問題」を解決する。



今、社会には、子ども若者たちが「生きにくさ」を抱えざるを得ない様々な状況があります。子ども若者が本来持っている「生きる力」を、子ども若者たちが自分の中に感じて、自分の人生を生きていくことができるような社会にしていきたいために、ビーンズふくしまは、地域の皆様と繋がり、行政と協働

しながら、活動を進めていきたいと考えております。

総会の中で、会員の皆様から「ビーンズの組織が大きくなり、活動が広がったことは喜ばしいが、以前のような一人一人の身になった支援が出来るのか非常に気になるところでもある。」とのご意見が出されました。

ビーンズふくしまはこの15年間、一人一人の子どもたち若者たちに向き合うことを大切にしてきましたが、あらためてスタッフ一人一人がこのことを胸に刻みながら活動を進めていかなくてはならないと思っております。

今後も皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

最後に、今期任期満了をもちまして、理事の千葉桂子様、監事の遠藤和男様が退任されました。これまで法人役員としてご尽力いただきましたことを心から感謝しますと共に、ご報告させていただきます。ありがとうございました。

## 新しい役員のお二人をご紹介します

理事として就任しました白鳥クニ子です。私は長いこと県立高等学校で養護教諭として仕事を続けてきました。登校のし難さに悩む高校生に初めて出会うことになったのは昭和46年のことでした。当時は登校拒否と表現していました。それ以来登校のし難さに悩むたくさんの生徒さんや保護者の方、学校の職員と一緒に過ごしてきました。そのような経験が理事として活かすことができるのであれば、努力を惜しまないつもりです。どうぞよろしくお願い致します。

ふくしま  
思春期サポーターの会  
会長  
白鳥クニ子



東日本大震災後、国際協力 NGO センター (JANIC) 震災対応チーム「震災タスクフォース」の一員として福島県を担当しました。その JANIC 福島事務所も3月末で活動を終了しました。新団体「ふくしま地球市民発信所(福伝)」を設立し、JANICとも連携し活動を継続しています。福島原発震災で得た教訓を世界に伝えること、立ち上がろうとするコミュニティを支援することを活動の柱に据えています。皆様のお仲間に加えていただき嬉しく、また光栄にも思っています。よろしくお願い致します。

特定非営利活動法人  
ふくしま地球市民発信所  
代表理事  
竹内俊之



# 福島事業部

ビーンズふくしま福島事業部では、困りごとをきちんと相談でき、安心して社会とつながれる場の提供をすることで、子ども・若者や保護者が本来持っている様々な力(生きる力、育つ力、自信など)が再発見され、必要な「次」へ向けて行動できるよう各種サポートをおこなってまいります。今年度もよろしくお願いたします。

## 子ども若者活動事業

### ■フリースクール事業 (フリースクールビーンズふくしま)

フリースクールは、地域の中にある、子どもたちの居場所です。子どもたちが安心して、人と繋がることができたり、様々な体験を通していろんな学びが味わえます。決まった時間割はなく、みんなで何をしたいか話しながら、プログラムを作ります。ゆっくり過ごしたい、仲間が欲しい、楽しいことがしたい、そんな思いがきくと叶う場所です。

●開所日時/月～金曜日 9:00～17:00  
(祝祭日及び年末年始を除く)  
〒960-8164 福島県福島市八木田字中島 106-1  
TEL&FAX 024-529-5184  
[E-mail]  
info-freeschool@beans-fukushima.or.jp  
[ブログ] <http://ameblo.jp/usagitokame009/>

### ■ピアサポートネット事業

様々な悩みを抱える若者が、主体的に関わり続けられる居場所の活動を県内6方部にて開催しています。そして若者がもう一歩「歩み始め」、社会参加を進めるための機会として、小さな失敗も大切な経験として積み重ねながら、自己効力感を高めるよう中間的就労の活動を本年度、福島市にて実施予定です。

〒960-8066 福島市矢剣町 22-5  
TEL 080-4184-9438(担当者直通)  
[E-mail]  
info-piasapo@beans-fukushima.or.jp  
開催日時はホームページをご覧ください  
<http://piasapo.beans-fukushima.or.jp/>

## ふくしま若者サポートステーション事業

社会へ出るのに1歩を踏み出せない15～39才までの若者の職業的自立支援を行っています。

- 就活サポート/就活相談、応募書類作成、面接対策。
- 同行サポート/地域の支援機関の案内、紹介、同行します。
- 習慣豆太郎/生活リズムを整える、「人に慣れる」を目的としたプログラムを実施し、社会へ出る準備をします。
- 開所日時/火～土曜日 10:00～17:00  
(祝祭日及び年末年始を除く)  
〒960-8066 福島市矢剣町 22-5  
TEL 024-563-6222  
FAX 024-563-6223  
[E-mail]  
info-fukusapo@beans-fukushima.or.jp

## 福島県ひきこもり支援センター

ひきこもっているご本人・ご家族の状況に合わせて、相談や情報提供を行い、地域の保健・医療・教育・労働・福祉機関などと協力し合いながら、「ひきこもっている状態」から抜け出すためのサポートをしております。「ひきこもり」のことで困ったら、まずは「福島県ひきこもり支援センター」にご相談ください。

〒960-8153 福島市黒岩字田部屋 53-5(福島県青少年会館1階)  
相談電話・FAX 024-546-0006  
[HP] <http://fhc.beans-fukushima.or.jp>  
[E-mail] [soudan-fukushima@gaea.ocn.ne.jp](mailto:soudan-fukushima@gaea.ocn.ne.jp)

- 開所日/火曜日～土曜日 9:30～17:30(祝祭日及び年末年始を除く)
- 対象/福島県内の、ひきこもりご本人やそのご家族
- 相談料/無料(事前予約が必要です)

## こころの相談室事業

相談室では「学校へ行けない」「職場でうまくいかない」などさまざまなこころの悩みを抱えているご本人、またその保護者の方々に対し、心理臨床の立場から継続的な支援をしています。本人の来所が難しい場合は、訪問による面談も受けています。面談はすべて予約制となっております。詳しくは電話にてお問い合わせください。

●開所日時/火～土曜日 10:00～18:00  
(祝祭日及び年末年始を除く)  
〒960-8066 福島市矢剣町 22-5  
TEL&FAX 024-563-6255  
[E-mail]  
info-kokoro@beans-fukushima.or.jp



# 郡山事業部

「こおりやま若者サポートステーション事業」の開設から6年目を迎えました。その間、行政、民間団体との協働事業、新団体・プロジェクトの立ち上げなど行ってきましたが、その源泉は「子ども若者が自ら望む姿で社会と繋がる事」を応援する精神です。この精神はフリースクールのスタッフやボランティアが「子どもたちへの願い」として築いた精神です。郡山事業部門もこの願いのもと、今後も活動を継続していきます。ご支援よろしくお願いたします。

## こおりやま若者サポートステーション事業

15歳～39歳までの若者を対象に、相談や各種プログラム等を通して、お仕事に就くためのサポートをしております。「働きたいけど何をしたらいいかわからない」「今の自分で働けるのか不安…」といった様々な悩みに対し、個別で活動計画を立てながら、一步一步、若者に合った支援メニューを提供しています。

●開所日時/月・火・水・金・土  
(祝祭日及び年末年始を除く)  
11:00～17:00  
〒963-8022 福島県郡山市西ノ内1丁目21-4  
白龍ビル1階  
TEL 024-954-3890 FAX 024-954-3891  
[E-mail]  
info-kooriyamasapo@beans-fukushima.or.jp

## 郡山市若年者就労体験事業

1日～5日で職場体験を行い、就職活動の参考としていただくものです。郡山市から受託しているため、郡山市在住の方が対象となっております。働いている方の様子を間近でみて、あるいは仕事の一部を手伝うことで、仕事選びのヒントを得ていただけます。また、希望される方には体験後にフォローアップも行います。

住所/こおりやま若者サポートステーションに同じ  
TEL 080-3524-7778(専用携帯)

## 福島県子どもの健全育成支援事業

経済的な課題を抱える家庭の子どもを対象に、地域の関係機関と連携しながら個別訪問や集団活動による家庭外学習の機会や同年齢・異年齢間の交流機会の提供、家庭環境の整備等を実施しています。これらを通して子どもたちが本来持っている生きる力(考える力や想像力、課題に取り組む力等)の豊かな成長を支援します。

〒963-8022 福島県郡山市西ノ内1丁目25-2 2階(子ども地域生活支援センター)  
TEL 024-983-9481 FAX 024-983-9482

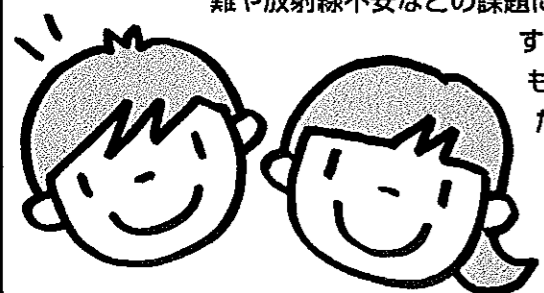


理事会

事務局

# 平成26年度 ビーンズふくしまの 活動紹介

# 被災子ども支援部門



私達、被災子ども支援部門は、東日本大震災によって起こった子どもの育ちの環境の課題や地域の課題を解決するために立ち上がり、仮設住宅に暮らす子どもの支援「うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト」、広域避難や放射線不安などの課題に対して親子の心のケアに関する取組を幅広く展開し、子ども支援の基盤の強化や回復のための取り組みを実施する「ふくしま子ども支援センター事業」の2事業に取り組んでいます。

## ふくしま子ども支援センター

ふくしま子ども支援センターでは、主に次の支援活動を行っています。

- ①山形・新潟・東京・宮城・茨城・埼玉・神奈川・秋田などの8都県の連携団体と一緒に、避難先での孤立化防止のための交流会を実施しています。
- ②避難先から戻ってきた母親の居場所「ママカフェ」を、福島・郡山・いわき・白河で開催しています。
- ③乳幼児健診等への専門職派遣、子育て支援者を支えるための支援者養成、これら全ての方々の情報で繋ぐ「ふくしま結ネット」を開設しています。

## うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト

**東北(浪江町の子ども対象)**

- ①「帰宅後の学習支援」を福島市・二本松市3か所の仮設で週2回各3時間実施しています。
- ②「ハワイアンズへ行こう」、「もちつき」等の企画を保護者、仮設住民と共に実施しています。

**県中(富岡町・川内村の子ども対象)**

- ①「こども広場」、「学習サポート」を郡山市・三春町3か所の仮設で週1～2回実施しています。
- ②「盆踊り太鼓練習」、「宿泊キャンプ」等子ども中心の集団活動を、保護者、仮設自治会と共に実施しています。

ふくしま子ども支援センター  
(うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト東北事務所)

- 開所日時/月～土曜日 9:30～18:30(祝祭日及び年末年始を除く)  
〒960-8068 福島県福島市太田町 17-8アーバン横山11F  
TEL 024-573-0150 FAX 024-573-0151  
[ふくしま子ども支援センター E-mail] [info-ccscd@beans-fukushima.or.jp](mailto:info-ccscd@beans-fukushima.or.jp)  
[うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト E-mail]  
[info-kodomopj@beans-fukushima.or.jp](mailto:info-kodomopj@beans-fukushima.or.jp)

子ども地域生活支援センター  
(ふくしま子ども支援センター郡山サテライト、うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト県中事務所)

- 開所日時/月・火・水・金・土 9:30～18:30  
(祝祭日及び年末年始を除く)  
〒963-8022 郡山市西ノ内1丁目25-2 2F  
TEL 024-983-9481 FAX 024-983-9482